

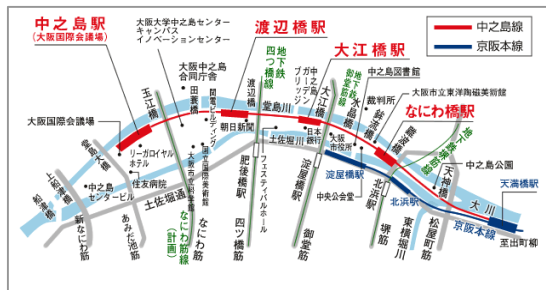
今月の一言 ゼロカーボン建築の実現が俄かにクローズアップされてきました。理論的には現状技術でも実現は可能ですが、コスト面等から現実性が有りません。産官学が連携して、技術開発・コストダウンを推進することが強く求められています。(松縄 堅)

Topics

- 3月10日に西尾主任研究員が(財)千里国際情報事業財団主催の『「まちとライフスタイルの明日を探る」セミナー2008』で、エリアマネジメントの現状と課題について講演します。
- 3月26日に開催する第15回NSRI都市・環境フォーラムは、松葉一清氏(武蔵野美術大学教授、建築評論家)によるご講演「景観からまちづくりへ～都市は生きていく」です。詳細は<http://www.1k.mesh.ne.jp/toshikei/>まで。

大阪/京阪中之島線の開業と新駅の未利用エネルギー利用

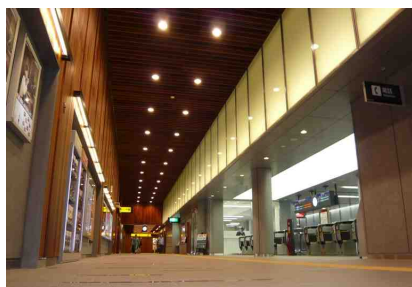
昨年10月19日、大阪中之島に京阪電鉄中之島線が開業し、新駅がオープンしました。大阪の読者の方は、テレビCM等で



記憶に新しいと思いますが、この中之島線の整備事業は、平成13年に事業化が決定、

【京阪中之島線の概要】

平成15年に着工、昨年開業に至ったもので、筆者は、計画当初から長く関わってきました。ここでは、新駅の特徴と未利用エネルギー利用等の概要について紹介します。



【大江橋駅 改札外コンコース】

背景のもと、京阪中之島線は、中之島における鉄道ネットワークの充実と、再開業の進展に伴い発生する交通需要に対応するため、堂島川の玉江橋付近から京阪本線天満橋駅に至る延長約2.9kmに建設された全線地下の路線で、「中之島」「渡辺橋」「大江橋」「なにわ橋」の4つの新駅が誕生しました。

新駅の特徴

新駅は、「中之島の粋(エスプリ)」をコンセプトとし、中之

中之島線の概要

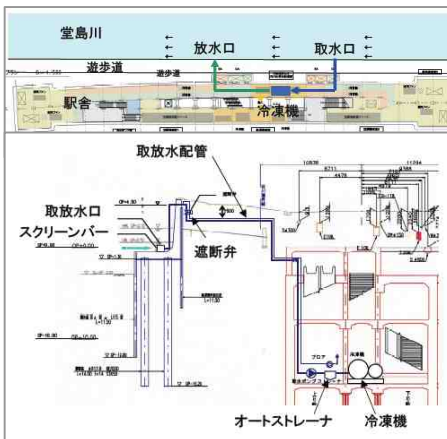
大阪中之島地区は、都市再生の緊急整備地域にも指定されており、堂島川と土佐堀川に囲まれた地域特性を生かした業務・文化・交流拠点の形成が期待されています。このような



島の緑や水を象徴した無垢材や自然素材が駅空間に利用されています。プラットフォームは、対向壁の素材の違いにより、乗降客にどの駅についているかを体感的に伝えられるようになっています。また、コンコースは、自然豊かな地上の中之島遊歩道から分岐・連続するもうひとつの遊歩道と位置づけられ、飲食店舗などが建ち並んだ街的な寛ぎや賑わいを感じさせる空間となっています。

【各駅のプラットフォーム・コンコース(開業日)】

未利用エネルギー利用システム



【新駅の未利用エネルギー利用システム】

駅上で熱的利用(利用温度差5℃)した後、下流部に放水しています。なお、冷熱源システムとしては、負荷平準化と供給安定性確保のため、河川水熱源ブライン冷凍機を用いた氷蓄熱(内融式)システムが採用されています。



【河川水取水口】

未利用エネルギーの有効利用、ヒートアイランド現象の緩和対策、遊歩道の環境向上等を目的に、新駅の冷房設備には冷却水として河川水が利用されています。駅が河川に接する中之島の立地条件を最大限に活かし、

駅上流部で取水、駅下流部で放水して、下流部に放水しています。なお、冷熱源システムとしては、負荷平準化と供給安定性確保のため、河川水熱源ブライン冷凍機を用いた氷蓄熱(内融式)システムが採用されています。(丹羽英治)

定期配信をご希望の方

定期配信を御希望の方は、下記メールアドレスまで。
(chihiro.kimura@nikken.co.jp 担当: 木村千博)

編集後記

予報では、お昼から雪とのこと。出したばかりの厚手のコートに顔をうずめ、うぐいすの鳴く声を聞きながら、冬と春のわくわく感を同時に感じた、ひな祭りの朝でした。(Y)